

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

注視やイメージする力を養うための ICT 活用
「体育（動画による見本の提示）」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部部 5・6 年
	障がい名等	知的障がい（自閉症）
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	・教師の師範に対して、動き方が分かったら、走ったり跳んだり四つ這いで移動などできる。 ・注視することが難しい。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	体育
	単元(題材)名	単元名「運動会をがんばろう」
	単元(題材)の概要	・運動会に向けて、競技内容を知り見通しをもつとともに、自分から活動に取り組む。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	タブレット端末、アプリ（写真、カメラ、動画編集） GoPro(+ヘッドマウント)、動画   
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○運動会の競技 4 種目が分かる。 ○取り組む内容が内容が分かり、自分から動くことができる。 ○教師や周囲の人とかかわりながら安全に取り組む。 〈工夫点〉 【競技内容の師範動画】 ・全体が映るように側面から撮影したものに加え、GoPro で撮影した目線の映像を提示した。 ・2つの動画を個人の iPad に保存し、活動中に課題に応じて選択し、提示した。（全体の動きならば側面撮影のもの、身体の細かい動きならば目線動画など）
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（カメラ、動画編集）、アクションカメラ
子どもの変容や評価		・キャタピラ運動では、はじめ、手の動かし方が分からず前に進めないことが課題となった。 ・全体の動画や教師の師範だけでなく、目線の動画を選択し、個別に提示することで、身体の動かし方に見通しがもてるようになり実施できたと考える。 ・見通しがもてないためか周囲を見渡すことがあったが、動画にしたことで音や映像によりイラストだけの時よりも興味を惹き、注視する時間が長くなった。

(令和 6 年度)